

人に教えるということ

（平成28年度始業式校長挨拶より）

今日から新学年、新学期が始まります。

始業式にあたり、皆さんに学びについての話しをします。

高校生の本文は勉強、学習です。平均すれば高校生活の80%は勉強といわれています。

皆さんの勉強法はどんなものでしょうか。日々いろいろと工夫を重ねつつ、ベストな勉強法を探し続けているのが実情でしょう。結局は、勉強して勉強して、その果てにたどりつき、自分自身で掴むものです。

ということで、今日の話は、皆さんが勉強する際に、学びの一つの手法として、「人に教える」ことを取り入れてほしい、ということです。

学習していく上で、「人に教える」ということは極めて有効です。

このことを、2つの観点から説明してみます。

◆一つは、時代の要請である、ということです。

あなた達高校生は学習指導要領に従って教育を受けています。何をどのように学ぶか。身に付けるべき力は何か、ということを決めたものです。その中に、学力の三要素「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「学習意欲」を身に付けさせるというのがあります。

「人に教える」ことはこの中の、思考力・表現力の向上に大きな効果があります。さらに、意欲の向上や言語活動の充実にもつながります。

「人に教える」ということは、今、必要とされているこれらの力を身に付ける上で、とても効果のある学びの方法と言えます。

◆もう一つは、学びの本質によるものです。

中国の儒教の教典、五経の一つ「書経」の兌命（イツメイ）編にこんな言葉があります。

「教うるは学ぶの半ばなり」

この意味は、

「人に教えるということは、実は半分は自分が学ぶことなのだ」

「人に教え、理解させることは、半分は自分にとっての勉強である。」

ということです。

考える、学ぶという行為は、あくまでも自分自身の問題ですから、独り善がりも許されますが、人に教えるとなると、相手に対して責任が生じます。いい加減であったり、あいまいであったりでは許されません。自分が理解していないことは人に説けませんから、相当の準備が必要になります。そのことが、自分の勉強にもなる、むしろ、深い学びになる、といているのです。

また、ここから、

「教学相長(教学あいちょうず)」という四字成句が生まれています。(教学あいちょうず)の意味は、「人に教えることと師から学ぶこととは相補い合うもので、両方を経験してはじめて学業も向上する。人を教えることは自分の修行にもなる」という意味です。

実は、他にもあって、19世紀フランスのモラリスト、エッセイストであるジョセフ・ジュベールの言葉に、

「教えることは2度学ぶことである。」とあります。

人に教えるためには、言葉にしなければならない。知識が体系的に整理されていないとそうすることは難しい。自分の学んできたプロセスを思い出し、知識や技術を見つめ直し、それを他人に伝えることのできる方法に変えていかなければならない。このような教えるという行為が改めて学ぶことになっているのです。

アメリカの研究所 1946 が出所といわれているラーニングピラミッドと呼ばれているものがあります。これは、学習の定着率あるいは学びの深まり具合をランク付けしたのですが、これにも一番良いのが「人に教える」とあります。

大学でゼミ、あるいはセミナーと呼ばれている授業は、「学生が学生に教える」形式ですが、大学では、最も重要な授業形態の一つとなっています。

このように「人に教える」というのは、本来、大学の授業形態なのですが、実はアクティブラーニングも大学のものです。ALは今、高校でも盛んに導入され始めていますが、大学での手法が高校の方に降りてきていると言えます。

2000年以上も前の中国の書物や、200年近く前のフランスの本、70年前のアメリカの研究発表にもある、ましてや現在の高校教育でも、高校生に身に付けてほしい力を育む手法として推奨されているという事実にはすごく驚かされます。

教育の原点を見る思いがします。皆さんはどう思われたでしょう。

★ 教えることは、定着を確実なものにし、知識の整理と表現力の養成、コミュニケーション能力の養成、さらには「受験は団体戦」の実践にも繋がっています。皆さん方で大いに教え合い、学び合い、学習を深めていってください。

★最後に実話を紹介します。

「数列の問題で、1から数えて、47は何番目の奇数か。これ苦手なんだよな。お前なんとして出してる。指で数える。無理か、じゃあしょうがない。奇数の一般項は $2n-1$ だから $2n-1=47$ を解く。それでもいいけど、こんなものもあるよ。奇数と偶数はペアで考えるんです。つまり、1と2、3と4、7と8、13と14のように奇数の方が小さいペアだ。47のペアは48というように。

ところで偶数の方は一番小さい偶数である2から数えて何番目なのかはすごく簡単、2で割ればいい。ということで、47のペアは48だから48は2で割って24、24番目。だから、48のペアである47も24番目となる。

人に教えるのは苦手という人は、話題として意見交換するのでもかまいません。こう思っているんだけど、これでいいのかな。もっと簡単な考え方無い？など、周囲に問いを発してみてください。

人は、あなたと同じように考えているとは限らないのです。いい考え方、知らなかった考え方は、こうしてどんどん吸収していきましょう。

始業式にあたり、人に教えることの意義・重要性についてお話ししました。4月は決意のとき、決意は失われていくことの多いものですが、皆さんには、いつまでも失うことなく、この一年頑張ってくれることを切に願っています。

(完)